

---

# 二次創作小説 1

七瀬 セナ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

二次創作小説1

### 【Nコード】

N7201Y

### 【作者名】

七瀬 セナ

### 【あらすじ】

もし、朝起きたら何もかも失っていたとしたら。

何を感じ何を思うのか。

ただ、それだけの話。

山も落ちも意味もないけれど、積み上げること崩すこともありません。

## （前書き）

二次創作（？）は書くつもりなかったのですが。

40mPの「パラメタ」を聞いて、歌詞にそってなんとなーくキーボードに思っていたことを走らせただけです。

「どんなに頑張って積み上げてきたものでも、一度崩せば失えば何も残らない」

なんとなく、そう思っただけです。

正直、山も落ちも意味もない小説ですが、よかったら読んでやってください。

朝、スイッチを押すような音で目を覚ました。  
いつも通り、何も変わらない部屋。

必需品以外は何もない、殺風景で面白みのない部屋。  
俺には、それが一番落ち着けて、一番満足していた。

「……なんなんだ、まったく」

食パンをかじりながら、流れていくニュースを眺める。

いつも通り。そのはずだったのだ。

いつものように母親に起こされて、いつものように学校に通うはずだったのだ。

だが、キッチンには母親はおらず、制服もなく。新築の家のように、何もなかった。

「……ちよつと、外に出てみるか」

服を着替え、寝癖を直し、喧騒の中に飛び込んだ。

デジタル時計を見ながら、早足で歩いているサラリーマン。

ケータイで時間を確認して、顔に焦りを浮かべながら走っている学生。

それを見ながら微笑んでいる、車椅子の老人。

何もかもがいつも通りで、いつものように同じことを繰り返して繰り返すことで、何かを積み上げて。

そう。たとえば数字の桁を増やすように。

たとえば積み木を積み上げていくように。

それが、全て朝起きたら失っていたとしたら？

もし間違えてマイナスを掛けてしまったら？

もし間違えて崩してしまったら？

今の俺のように、脱力感と疎外感を感じるのだろうか。

はたまた、開放感を感じるのだろうか。

そんなことは、なってしまうてからじゃないと分からない。  
過ちを犯すか否かは、全て自分が決めることなのだから。

そして、俺の視界は、スイッチを切るような音とともにブラックアウトした。

「……起きなさい。遅刻するわよ」

いつも通り、母親の声で目が覚めた。

いつも通り殺風景な部屋。制服も、家族も、当たり前のようにそこにあった。

「……やれやれ」

俺は、いつも通り用意されていた食パンをかじりながら、流れていくニュースを眺めるのだった。

（後書き）

何も隠すつもりはないですけど、40mPのファンです  
同時に、ボカロ大好きです

久しぶりに、いい歌詞の曲を聴きましたよ、はい

機会があれば、40mさんの曲を自分なりに掌編小説にしたいです  
ね、はい

でも、需要あるんかいな

では、また次回

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7201y/>

---

二次創作小説 1

2011年11月21日16時30分発行